

1. 序論

社会言語は町田 (2004:19) によると、言語を社会の中に位置づけ、さまざまな社会的要因が言語の運用とどのように関わっているのか研究することである。ナババン (1984) によると、社会言語の中には十のトピックがあり、そしてその一つはバイリンガリズムと多言語使用である。バイリンガリズムと多言語使用はチャエルとアグスチナ (2010:84) によると、二つの言語と二つの言語コードに関係がある。二つの言語を使用しているとき学習者の母語には正しい文法から外れることがよくある。それは言語接触からの結果である。

この研究は歌詞にある日本語の干渉の要因を理解するためである。小池 (2003:367) によると、第2言語または外国習得において、学習者の母語(*native language*)の言語習慣が、意識下または無意識に目標言語(*target language*)の習得影響を与える現象を、言語転移(*language transfer*)と言う。言語転移は、目標言語のあらゆる局面(音声・文法・語彙など)において生じる。その場合、「正の転移」(*positive transfer*)と「負の転移」(*negative transfer*)がある。目標言語の体系内のある要素や他の要素との対立(*contrast*)が、学習者の母語に存在しないような場合、母語の言語習慣が、目標言語の習得に悪い影響を与え、障害になると考えられている。これを「負の転移」(*negative transfer*)または「干渉」と呼ぶ。

外国語の体系内のある要素が母語でよく使っているとき、外国語から借用語は母語に記述できず、その場合、外国語の体系内の要素はもう借用

語ではなり、母語として使う。その内容語は歌詞に見つけられる。歌詞を書くとき、作曲に使う言葉を自由に選べる。それは作曲の権限(*licentia poetica*)である。

2. 本論

2.1 言語転移

今夜だけでもシンデレラ・ボーイ
Do you wanna dance tonight?
ロマンチックをさらって
Do you wanna hold me tight?
ちよつときどったシンデレラ・ボーイ
Do you wanna dance tonight?
銀のシューズで踊って
Do you wanna hold me tight? (bait 3, Eat You Up)

歌手は荻野目洋子である。荻野目洋子は当時17歳の学生で歌手であり、ポップソングを歌う。ポップソングは西洋文化からのソングジャンルである。

言語転移は文にある。その文は「*Do you wanna dance tonight?*」である。また「*Do you wanna hold me tight?*」である。

この歌詞で言語転移の起こった理由は荻野目洋子の仕事と選んだソングジャンルである。歌手として荻野目洋子は権限 (*licentia poetica*)を持っている。またポップソングは西洋文化からのソングジャンルである。

2.2 ファンクションと内容カテゴリーの変化

焦る気持ちに *stop* する為
何気ない日常の *talk* で
繋いでるけど気付いてる
それが一番、危険な行為 (bait 3, *Gamble*)

歌手は清水翔太である。清水翔太は23歳男性で作曲と歌手であり、RnB (リズム アンドブルース)ソングを歌う。RnB (リズム アンドブルース)ソングは西洋文化からのソングジャンルである。

内容カテゴリーの変化は「*stop* する」と「日常の *talk*」の作った形態素にある。「*Stop* する」を作った形態素は（動詞+動詞）である。でも、この歌詞で「*stop* する」を作った形態素は（名詞+動詞）に変化した。また、「日常の *talk*」 を作った形態素は（名詞+動詞）である。でも、この歌詞で「日常の *talk*」 を作った形態素は（名詞+名詞）に変化した。

この歌詞で内容カテゴリーの変化がの起こった理由はこの歌詞に言語転移がありましたから。また、清水翔太の母語が英語を影響した。清水翔太の仕事と選んだソングジャンルはこの歌詞で内容カテゴリーの変化が起こった。

2.3 要素の対立を使う

I can fly できない事なんてない
大空羽ばたく 未来が見える
Trust your self 信じて 君の力
大空羽ばたく 翼があるだろ
World is yours... (bait 4, *World is yours*)

歌手は山下智久である。山下智久は25歳男性であり、作曲と歌手であり、ポップソングを歌い、エンターテイナーである。ポップソングは西洋文化からのソングジャンルである。

要素の対立を使うは音素にある。山下智久はこの歌を歌っていつとき、「*fly*」を「フライ」といった。この干渉の起こった理由は山下智久の母語が英語を影響した。日本語で /f/ は ϕ でいいました。日本語でこの/f/を比べ音声はないため ϕ を使う。

2.4 言語構造を無視する

Hey baby! Love is there you know いつも
目が合うたび この胸が痛い
彼こそが スーパースター *my feeling* せつなくて (bait 3, *Everyday At The Bus Stop*)

歌手は Tommy February⁶である。Tommy February⁶は27歳女性であり、歌手であり、ポップエレクトロソングを歌い、エンターテイナーである。ポップエレクトロソングはイギリスからのソングジャンルである。

言語構造を無視するのは句にある。その句は「*my feeling* せつなくて」である。日本語の言語構造によると、この句は「主語-述語」の関係がある。日本語の文法によると、正しい文法は「何は+どんなだ」である。そのため正しい日本語の文法によると、その句は「*my feeling* せつなくて」ではなく、「*my feeling* はせつなくて」のほうが正しいである。

この歌詞で言語構造を無視する起こった理由は Tommy February⁶の仕事と選んだソングジャンルである。歌手として Tommy February⁶は権限 (*licentia poetica*)を持っている。それでも歌詞の意味はわかる。

3. 結論

論文では歌詞に日本語の干渉が起こった要素は言葉、句、節、分、名詞、句構造文法、形態素、隠語と音素である。歌詞にある日本語の干渉のタイプは言語転移、ファンクションと内容カテゴリーの変化、要素の対立を使う、言語構造を無視することである。

歌詞にある日本語の干渉が起こる理由はポップや *RnB* など英語圏の借用し、また歌手の母語が英語に影響を与えている。英語の内容語は日本語に同じ内容語がない。たとえば、「*baby*」は日本語に同じ言葉の意味がない。それに、歌手の持っている作曲の権限 (*licentia poetica*) のため歌手の母語の言語習慣が無意識に歌詞にある日本語の干渉を起こす。

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI.....	iv
KATA PENGANTAR.....	v
DAFTAR ISI.....	vi
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1. Latar Belakang Masalah	1
1.2. Rumusan Masalah.....	6
1.3. Tujuan Penelitian	6
1.4. Metode Penelitian	6
1.5. Organisasi Penulisan.....	7
BAB II KAJIAN TEORI	9
2.1. Sociolinguistik.....	9
2.2. Interferensi	13
2.2.1. Campur Kode.....	16
2.2.2. Integrasi.....	18
2.3. Lagu Sebagai Karya Puisi.....	18

2.4. Rangkuman Teori.....	21
BAB III ANALISIS	22
3.1. Pemindahan Unsur Bahasa.....	22
3.2. Perubahan Fungsi dan Kategori Unsur.....	30
3.3. Penerapan Unsur yang Tidak Berlaku.....	35
3.4. Pengabaian Struktur Bahasa.....	44
3.5. Rangkuman Analisis	50
BAB IV SIMPULAN.....	52
DAFTAR PUSTAKA	53
LAMPIRAN DATA	
SINOPSIS	
RIWAYAT HIDUP PENULIS	